

3 月 9 日：取引所システムの逼迫、外国人の売り越しが重しとなり、ベトナム株は続落

火曜日のベトナム株は不安定な相場となり、利益確定売りから続落した。取引所システムの逼迫、外国人投資家の売り越しが投資家心理に重しとなった。

ホーチミン市場の主要指数である VN 指数は 0.54% 安の 1,161.97 ポイントで取引を終えた。

同指数は月曜日 0.04% 安の 1,168.27 ポイントで取引を終えていた。

売買高は 6 億 4,140 万株以上で、売買代金は 15 兆 1,000 億ドン（6 億 5,730 万 US ドル）だった。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、266 銘柄が下落、187 銘柄が上昇した。

「VN 指数は取引時間中のほとんどで下落基調だった。外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）でなお売り越した。値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回ったが、出来高は前日の取引と比べてあまり変わらなかった」（BIDV 証券）

「我々の見方では、VN 指数は今後 1,150-1,170 ポイントの間で変動する可能性がある」

外国人投資家はホーチミン市場でビナミルク（VNM）2,731 億ドン、ペトロベトナムパワー（POW）1,818 億ドン、ホアセングループ（HSG）1,029 億ドンを含む計 1 兆 1,400 億ドンを売り越した。またハノイ市場では 154 億 2,000 万ドンを売り越した。

取引所システムに負荷がかかり、取引は引き続き中断した。市場参加者の頭を悩ませ、彼らのセンチメントに重石となった。

ホーチミン市場の大型株 30 銘柄に連動する VN30 指数は、0.60% 安の 1,163 ポイントで引けた。

同指数採用銘柄のうち、22 銘柄が下落、7 銘柄が上昇した。

同指数の値下がり銘柄では、エネルギー関連株のペトロベトナム パワー (POW) 、ペトロリメックス (PLX) は共に 3 %以上下げ、モバイルワールドインベストメント (MWG) -2.1%、ベトインバンク (CTG) -1.9%、ビナミルク (VNM) -1.7%、ビングループ (VIC) -1.6%と続いた。

その反面、ファットダット不動産開発 (PDR) 、フーニュアン・ジュエリー (TCH) 、タインタインコン・ビエンホア製糖 (SBT) 、VP バンク (VPB) は 1%以上値を上げた。

取引時間中、軍隊商業銀行 (MBB) 、サイゴンハノイ銀行 (SHB) 、TP バンク (TPB) 、エクシムバンク (EIB) 、ベトナム国際銀行 (VIB) 、サコムバンク (STB) といった銀行株は全て売られ、最も売られたのはベトナム投資開発銀行 (BID) 、ベトインバンク (CTG) で 2%近く下落した。

ハノイ市場では、HNX 指数は 0.54%高の 264.83 ポイントだった。

同指数は月曜日に 1.39%高の 263.42 ポイントで引けていた。

売買高は約 1 億 5,060 万株、売買代金は 2 兆 1,000 万株だった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。